

建築物衛生登録業指導指針・様式目次

別記1号様式		年間事業計画書（清掃業）	23
別記2号様式	— 1	清掃作業計画書	24
別記2号様式	— 2	清掃作業実施計画書	25
別記3号様式		清掃作業月報	26
別記4号様式		清掃作業日誌	27
別記5号様式		作業従事者研修記録簿	28
別記6号様式		作業従事者名簿	29
別記7号様式		使用機材・機器別備品台帳	30
別記8号様式		月間事業計画書	31
別記9号様式	— 1	空気環境測定計画書	32
別記9号様式	— 2	（測定作業手順）	33
別記10号様式	— 1	空気環境測定報告書	34
別記10号様式	— 2	（概評等）	35
別記10号様式	— 3	空気環境測定記録	36
別記11号様式		飲料水水質検査計画書	37
別記12号様式		水質検査結果書	38
		水質基準	39
別記13号様式		薬品使用簿	40
別記14号様式	— 1	貯水槽清掃作業計画書	41
別記14号様式	— 2	（作業手順）	42
別記14号様式	— 3	（作業工程）	43
別記15号様式	— 1	貯水槽清掃作業報告書	44
別記15号様式	— 2	（詳細）	45
別記15号様式	— 3	（詳細）	46
別記15号様式	— 4	（詳細）	47
別記15号様式	— 5	（詳細）	48
別記16号様式		防除作業計画書	49
		（詳細）	50
別記17号様式	— 1	防除作業報告書	51
別記17号様式	— 2	（詳細）	52
別記17号様式	— 3	（詳細）	53
別記18号様式		水質検査結果	54
別記19号様式	— 1	空気調和用ダクト清掃作業計画書	55
別記19号様式	— 2	（作業手順）	56
別記19号様式	— 3	（作業工程）	57
別記20号様式	— 1	空気調和用ダクト清掃作業報告書	58
別記20号様式	— 2	（詳細）	59
別記21号様式	— 1	排水管清掃作業計画書	60
別記21号様式	— 2	（作業手順）	61
別記21号様式	— 3	（作業工程）	62
別記22号様式	— 1	排水管清掃作業報告書	63
別記22号様式	— 2	（詳細）	64

(別記第1号様式)

年 間 事 業 計 画 書

(年度)

建築物名 (所在地)	清掃実施期間	監督者氏名	清掃作業従事者氏名及び人数	研修予定年月日	機械器具の名称及び台数	機械器具の保管場所

清掃作業計画書

年 月 日

〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 様

札幌市中央区北〇条西〇丁目
〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

【〇〇〇ビル（札幌市中央区北〇条西〇丁目）】の清掃については、次のとおり実施する。

- 1 清掃期間
年 月 日から 年 月 日までとする。
なお、日曜祝祭日にあつては、清掃を要しないものとする。
- 2 清掃時間
午前〇時から午後〇時までの間に行うものとする。ただし、土曜日については、午前〇時から午後〇時までの間に行うものとする。
- 3 清掃人員
〇〇〇〇を清掃作業監督者（責任者）とし、おおむね〇〇名で作業を行う。
- 4 清掃箇所、履行回数及び清掃内容
別記第2号様式-2のとおり。
- 5 使用機材
(名称及び台数を記載すること。)
- 6 清掃方法
ビルの各材質の特性や汚れの性質等を十分検討の上、最適の清掃資材と清掃方法を選択して清掃を行う。
- 7 その他
作業員については、日ごろから研修を実施する等資質と技術向上に努める。
また、作業員の服装等については、常に清潔なものとする。

清掃作業実施計画書

<日常清掃>

区域 作業箇所	共同区域				専用区域			
清掃作業								
床の掃き拭き								
ジュウタン掃除								
壁面(低所)ほこり払い								
机上掃除								
窓枠窓台ほこり払い								
吸いがら処理								
紙屑・ごみ処理								
茶がら・厨芥処理								
出入口・扉まわり掃除								
階段手すり拭き								
洗い場掃除								
衛生陶器掃除								
鏡まわり掃除								
衛生消耗品補給								
汚物入れ、たんつぼ掃除								
マット掃除								

<定期清掃>

区域 作業箇所	共同区域				専用区域			
清掃作業								
床面ワックス塗装								
金属磨き								
天井・高壁ほこり払い								
幅木掃除								
窓ガラス磨き								
扉・間仕切り掃除								
マットの洗浄								
たたみ上げ掃除								
排水溝掃除								
金属外装磨き								

※ 清掃作業実施計画書を作成する際は、実態に合わせて作業箇所、清掃内容及び履行回数を詳しく記載すること。

(別記第3号様式)

清 掃 作 業 月 報

年 月 日

(建築物名)

作業日程		日 常 清 掃																																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
共同区域	作業場所																																				
専用区域	作業場所																																				

※ 日常清掃内容は、清掃作業計画書のとおり

<定期清掃>

区域 作業箇所	共同区域	専用区域
	清掃作業	

清掃作業監督者氏名	
作業従事者人数	

(別記第4号様式)

清 掃 作 業 日 誌

(ビル名)

(清掃年月日)

区域 作業箇所 清掃作業	共同区域				専用区域			

清掃作業監督者(責任者)の氏名	
作業従事者人数	

(別記第5号様式)

作業従事者研修記録簿

研修の期日	年 月 日 時 分 ~ 時 分
研修の内容	(詳細は別紙のとおりとし、使用教材も添付すること。)
指導担当者の氏名及び資格	
<参加従事者の氏名及び人数>	

(別記第6号様式)

作業従事者名簿

職名 (正職員・アルバイト・ パートの別)	氏名	研修 年月日	研修 年月日	研修 年月日	研修 年月日	研修 年月日	研修 年月日

(別記第7号様式)

使用機材・機器別備品台帳

使用機材・機器別備品台帳													機材・機器名	
メーカー	型式	性能	購入先	購入年月日	修理及び較正先					保管場所		備考		
年	点検整備状況 (良好:○ 不良:×)												不良の場合の処置 (較正についても記載)	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年月日	処置方法

(備考) 取扱説明書及びカタログ等は、別に別冊として保管すること。

(別記第8号様式)

月間事業計画書

(年 月分)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(曜日)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
施行建築物名 (班・氏名・ 人数)										
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備 考
()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

(別記第9号様式-1)

空 気 環 境 測 定 計 画 書

年 月 日

〇〇〇株式会社
代表取締役 〇 〇 〇 〇 様

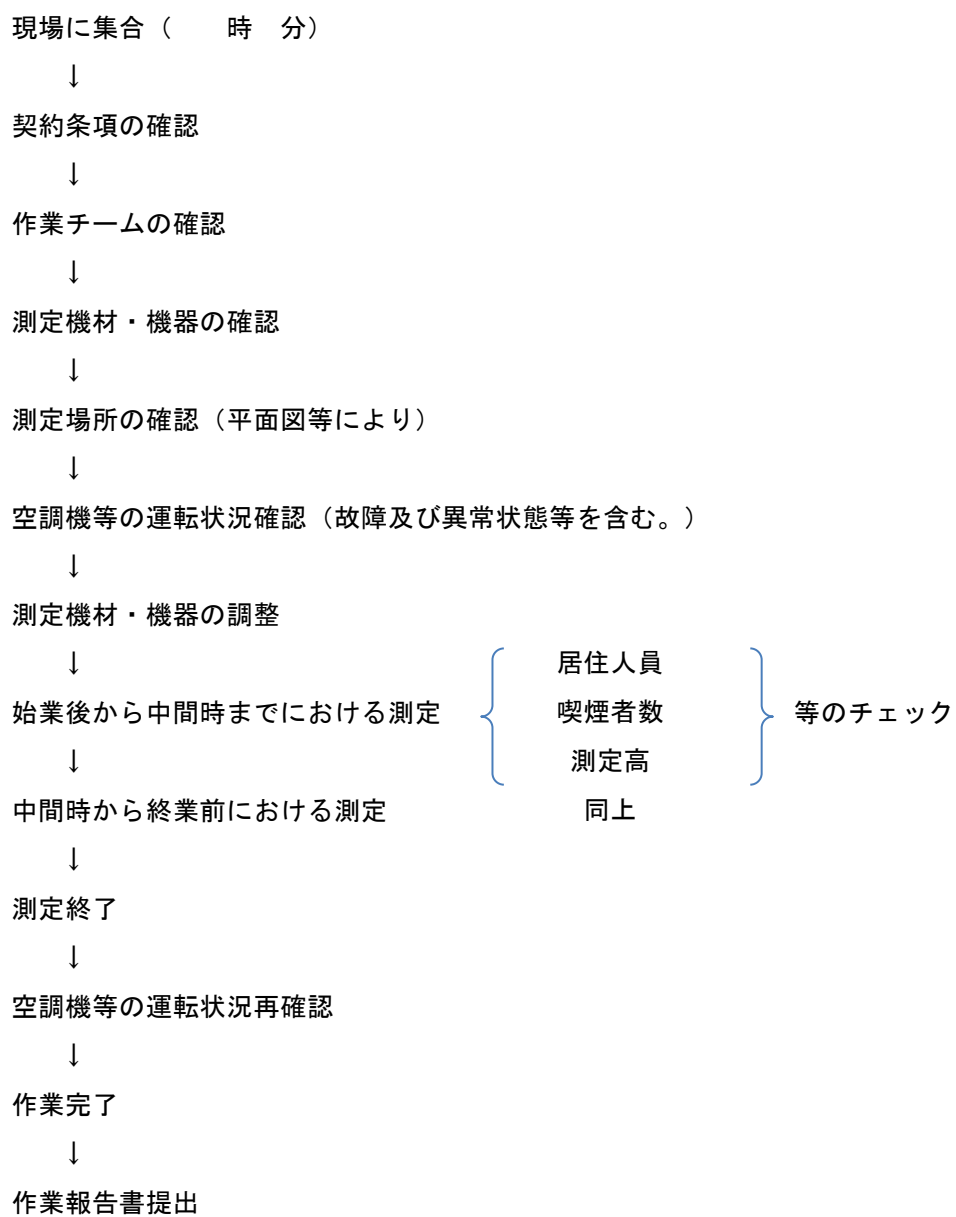
札幌市中央区北〇条西〇丁目
〇〇〇株式会社
代表取締役 〇 〇 〇 〇

建築物 名 称		構 造	延べ面積 (空調比)	㎡ (%)			
			建築物構造	鉄骨 鉄筋	コンクリート造	地上 地下	階 階
所在場所			用 途				

上記建築物について、次のとおり空気環境測定を実施する。

測定年月日、時刻	年 月 日 時 分から 時 分まで	
測定実施者	氏 名	
	資 格	
測定項目		
使用機材及び機器等	(名称を記載すること。)	
測定場所	(測定階、場所、ポイント数等を記載すること。)	
測定作業手順	別記第9号様式-2のとおり	
作業結果	後日、空気環境測定報告書を提出する。	

<測定作業手順>



(別記第10号様式-1)

空 気 環 境 測 定 報 告 書

年 月 日

依頼者 所在地

ビル名

所在地

名称

代表者

(別記第10号様式-2)

概 評 等			
項 目	概 評	問 題 点	対 策
浮の遊粉じん量			
一酸化炭素の含有率			
二酸化炭素の含有率			
温度			
相対湿度			
気流			
ホルムアルデヒドの量			

(別記第 10号様式 - 3)

No. _____

空 気 環 境 測 定 記 録

年 月 日 ()

天
候

測
定
者

氏名

測定項目		浮遊粉じんの量	一酸化炭素の含有率	二酸化炭素の含有率	温度	相対湿度		気流	ホルムアルデヒドの量		居住人員	喫煙者数	備 考
基準		0.15mg/m ³ 以下	10ppm 以下	1,000ppm 以下	17~28°C	40 ~ 70%		0.5m/sec 以下	0.1mg/m ³ 以下		(人)	(人)	〔 空調機等の運転状況 及びその他状況を記載 〕
測定場所	測定時間	平均	平均	平均	乾球	湿球	湿度	平均					
外気 (取入口附近)													
測定機器名及び検知管の種類													
測定機器名及び検知管の種類													

(別記第11号様式)

飲料水水質検査計画書

年 月 日

〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇〇〇様

札幌市中央区北〇条西〇丁目

〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇〇〇

建築物の名称		所在場所		
		受水槽	高架水槽	副受水槽
貯水層構造	容量 (m ³)			
	材質			
	塗装の種類			
	塗装年月日			
	水源の種類			

上記建築物について、次のとおり飲料水水質検査を実施する。

採水年月日・時刻	年 月 日 時 分		
採水者 (持込の可否も記載する。)			
採水場所	1 給水栓末端 2 その他 ()		
採水方法	給水栓末端を全開して十分に放流した後、次のとおり実施する。 1 清浄な試料ビンに理化学的試験のための試料約2～4ℓを採水する。 2 滅菌した試料ビンに細菌学的試験のための試料約100mlを採水する。		
運搬方法	採水後、直ちに試験室に輸送する。 また、夏季等気温の高い時は、氷づめ等をしたクーラーで運搬する。		
検査者氏名	理化学		
	細菌学		
検査項目	水質基準に関する省令に定める方法、又はこれと同等以上の精度を有する方法により行う。 また、至急検査すべきものは、現場で検査を行うか、適当な前処理を行い、速やかに検査室で行う。		
検査結果	後日、水質検査結果書を提出する。		
その他	検体持込みの場合、試料ビン及びクーラーを貸し出すとともに事前に採水者に採水方法、運搬方法等を指導する。		

(別記第12号様式)

水 質 検 査 結 果 書

第 年 月 日 号

〇〇〇株式会社
代表取締役 〇 〇 〇 〇 様

札幌市中央区北〇条西〇丁目
〇〇〇株式会社
代表取締役 〇 〇 〇 〇
理化学的検査 〇 〇 〇 〇
細菌学的検査 〇 〇 〇 〇

採水場所
採水者
採水日時 月 日 時 分
検査日 月 日～ 月 日

年 月 日提出された上記試料の試験結果は次のとおりです。

1	一 般 細 菌	個/ml	31	ホルムアルデヒド	mg/l
2	大 腸 菌	mg/l	32	亜鉛及びその化合物	mg/l
3	カドミウム及びその化合物	mg/l	33	アルミニウム及びその化合物	mg/l
4	水銀及びその化合物	mg/l	34	鉄及びその化合物	mg/l
5	セレン及びその化合物	mg/l	35	銅及びその化合物	mg/l
6	鉛及びその化合物	mg/l	36	ナトリウム及びその化合物	mg/l
7	ヒ素及びその化合物	mg/l	37	マンガン及びその化合物	mg/l
8	六価クロム化合物	mg/l	38	塩化物イオン	mg/l
9	亜硝酸態窒素	mg/l	39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/l	40	蒸発残留物	mg/l
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	41	陰イオン界面活性剤	mg/l
12	フッ素及びその化合物	mg/l	42	(4S,4aS,8aR)-オクタヒドロ-4,8a-ジメチルナフタレン-4a(2H)-オール(別名ジェオスミン)	mg/l
13	ホウ素及びその化合物	mg/l			
14	四塩化炭素	mg/l	43	1,2,7,7-テトラメチルビシクロ[2,2,1]ヘプタン-2-オール(別名2-メチルイソボルネオール)	mg/l
15	1,4-ジオキサン	mg/l			
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	44	非イオン界面活性剤	mg/l
17	ジクロロメタン	mg/l	45	フェノール類	mg/l
18	テトラクロロエチレン	mg/l	46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/l
19	トリクロロエチレン	mg/l	47	pH値	
20	ベンゼン	mg/l	48	味	
21	塩素酸	mg/l	49	臭気	
22	クロロ酢酸	mg/l	50	色度	
23	クロロホルム	mg/l	51	濁度	
24	ジクロロ酢酸	mg/l	52		
25	ジブromクロロメタン	mg/l	53		
26	臭素酸	mg/l	54		
27	総トリハロメタン	mg/l	55		
28	トリクロロ酢酸	mg/l	56		
29	ブromジクロロメタン	mg/l	57		
30	ブromホルム	mg/l	58	残留塩素	mg/l
判定	A 上記検査項目(52から58の項目を除く。)については水質基準に適合する。 B 上記検査項目のうち()は水質基準に適合しない。				
備考					

水 質 基 準

番号	項 目	基 準	番号	項 目	基 準
1	一般細菌	1 mlの検水で形成される集落数100 以下	27	総トリハロメタン	0.1mg/l以下
2	大腸菌	検出されないこと	28	トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下
3	カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、0.003mg/l以下	29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下
4	水銀及びその化合物	水銀の量に関して、0.0005mg/l以下	30	ブロモホルム	0.09mg/l以下
5	セレン及びその化合物	セレンの量に関して、0.01mg/l以下	31	ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下
6	鉛及びその化合物	鉛の量に関して、0.01mg/l以下	32	亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、1.0mg/l以下
7	ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して、0.01mg/l以下	33	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.2mg/l以下
8	六価クロム化合物	六価クロムの量に関して、0.05mg/l以下	34	鉄及びその化合物	鉄の量に関して、0.3mg/l以下
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	35	銅及びその化合物	銅の量に関して、1.0mg/l以下
10	シアン化物イオン及び塩化シア	シアンの量に関して、0.01mg/l以下	36	ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して、200mg/l以下
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	37	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.05mg/l以下
12	フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して、0.8mg/l以下	38	塩化物イオン	200mg/l以下
13	ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して、1.0mg/l以下	39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下
14	四塩化炭素	0.002mg/l以下	40	蒸発残留物	500mg/l以下
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下
16	1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	42	(4S,4aS,8aR)-オクタヒドロ-4,8a-ジメチルナフタレン-4a(2H)-オール(別名ジェオスミン)	0.00001mg/l以下
17	ジクロロメタン	0.02mg/l以下			
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	43	1,2,7,7-テトラメチルピシクロ[2,2,1]ヘプタン-2-オール(別名2-メチルイソボルネオール)	0.00001mg/l以下
19	トリクロロエチレン	0.01mg/l以下			
20	ベンゼン	0.01mg/l以下	44	非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下
21	塩素酸	0.6mg/l以下	45	フェノール類	フェノールの量に換算して0.005mg/l以下
22	クロロ酢酸	0.02mg/l以下	46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/l以下
23	クロロホルム	0.06mg/l以下	47	pH値	5.8以上8.6以下
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	48	味	異常でないこと
25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	49	臭気	異常でないこと
26	臭素酸	0.01mg/l以下	50	色度	5度以下
			51	濁度	2度以下

(別記第13号様式)

薬品使用簿

(薬品名)

年 月 日	購 入 量	使 用 量	残 量

(別記第14号様式-1)

貯水槽清掃作業計画書

年 月 日

〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇 様

札幌市中央区北〇条西〇丁目

〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

建築物の名称		所在場所		
		受水槽	高架水槽	副受水槽
貯水層構造	容量 (m ³)			
	材 質			
	塗 装 の 種 類			
	設 置 場 所			
	設 置 方 法 (地 下 式 等)			

上記建築物の { 1 受水槽 }
 { 2 高架水槽 } について、次のとおり清掃を実施する。
 { 3 副受水槽 }

作業実施年月日・時刻	年 月 日 時 分 から 時 分 まで
断水時間	時 分 から 時 分 まで
採水場所	1 給水栓末端 2 その他 ()
作業班の編成	
作業監督者氏名	
使用機材及び機器等	(名称を記載すること。)
作業手順及び工程	別記第14号様式-2のとおり
作業結果	後日貯水槽清掃作業報告書を提出する。

<作業手順>

現場に集合 (時 分)

↓

契約条項の確認

↓

作業チームの確認

↓

作業機材・機器の確認

↓

掃除場所の確認

↓

給水設備等の運転状況確認 (故障及び異常状態等を含む。)

↓

貯水槽周辺の清掃

↓

使用機材・機器の消毒

↓

手足・長ぐつ等の消毒

} 有効塩素50~100PPMの濃度の次亜塩素酸ソーダ溶液を使用

↓

作業衣の着替 (消毒済のものを使用)

↓

安全処置の確認 (安全帽・長ぐつ・火気・電気・換気・工具・機器・油類・仮設物等)

↓

作業開始

↓

作業終了

↓

給水開始

↓

遊離残留塩素等簡易な水質検査 (槽内及び給水栓末端において)

↓

現場周辺の整理・整頓

↓

作業完了 (立会人により作業完了の確認を受ける。)

↓

作業報告書提出 (水質検査結果が判明した後)

<作業工程>

- 1 槽周辺の清掃
- 2 槽上部の清掃
- 3 水道引込管、揚水管、吸込管及び排水管の弁を必要に応じ開閉する。
- 4 揚水ポンプ等で槽内の水を排水する。
(ドレン弁がある場合は、これを用いる。)
- 5 槽内をブラシ、タワシ等で掃除する。同時に接続管、弁、機器類も入念に掃除する。
- 6 槽内の水分等をウエス等できれいに拭き取る。
- 7 修理箇所の有無の点検 (修理が必要な場合は、修理する。)
- 8 消毒は、次亜塩素酸ナトリウム (50~100ppm) を噴霧し、30分以上放置して消毒し、洗浄水を用いて洗浄する。(2回以上実施する。)
- 9 槽の清掃の実施の際、開閉した弁を元に戻す。(給水開始)
- 10 遊離残留塩素等の簡易な水質検査を行う。

<補足>

- 1 受水槽及び高置水槽の掃除を行う場合は、原則として同日に実施し、順序は受水槽の掃除を行い、次いで高置水槽の掃除を行う。
- 2 塗装を行う場合には、槽内掃除後に行い、その後消毒を行う。

(別記第15号様式-1)

貯水槽清掃作業報告書

年 月 日

依頼者 所在地

ビル名

所在地

名称

代表者

(別記第15号様式-2)

ビル名											
所在地											
作業実施日	年 月 日 (曜日) 天気							時 分		~	分
作業者	監督者名										
	作業従事者名										
断水時間											
受水槽	容量 (m ³)		構造 (製)			場 所		備 考			
	点検状況	項目	錆		異 物		沈 査		亀 裂		
		判定	有 無		有 無		有 無		有 無		
		特記事項									
高架水槽	容量 (m ³)		構造 (製)			場 所		備 考			
	点検状況	項目	錆		異 物		沈 査		亀 裂		
		判定	有 無		有 無		有 無		有 無		
		特記事項									
副受水槽	容量 (m ³)		構造 (製)			場 所		備 考			
	点検状況	項目	錆		異 物		沈 査		亀 裂		
		判定	有 無		有 無		有 無		有 無		
		特記事項									

(別記第15号様式-3)

揚水ポンプ	揚程	m	揚水量	m^3/min	台		
給水管			材質				
防錆剤	使用 (薬品名 系)				未使用		
槽内消毒	薬剤名						
	濃度	%溶液	×	希釈	倍	最終濃度	PPM
	1回目		2回目		備考		
	放置時間		分間		分間		
塗装	塗装剤						
	場所						
	時間						
防水	防水方法						
	場所						
遊離残留塩素量	測定器						
	場所名						
	清掃前	時分	時分	時分	PPM		
	清掃後	時分	時分	時分	PPM		

(別記第15号様式-4)

項目		結果	貯 水 槽			特 記 事 項
			受水槽	高架水槽	副受水槽	
附 属 機 器 点 検 状 況	ポ ー ル タ ッ プ	良 否			良 否	
	マ ン ホ ー ル 及 び マ ン ホ ー ル ふ た	良 否	良 否		良 否	
	満 減 水 警 報 装 置	良 否	良 否		良 否	
	給 水 ポ ン プ と フ ー ト 弁	良 否			良 否	
	オ ー バ ー フ ロ ー 管 及 び 排 水 口 空 間	良 否	良 否		良 否	
	ド レ ン 管	良 否	良 否		良 否	
	空 気 抜 き 管	良 否	良 否		良 否	
	内 部 ス ラ ー の 状 況	良 否	良 否		良 否	
	フ ロ ー ト ス イ ッ チ 又 は 電 極 式 制 御 装 置	良 否	良 否		良 否	
	弁 類	良 否	良 否		良 否	
	電 気 配 線	良 否	良 否		良 否	
修 繕 履 歴	修 理			取 替		
	場 所	箇 所	故 障 原 因	場 所	箇 所	備 考

(別記第15号様式-5)

所 見		掃 除 前				掃 除 後				
		写 真 等				写 真 等				
水 質 検 査	採水年月日	年 月 日			時 分		天気			
	測定箇所	残留塩素 ppm	色	濁り	臭い	味				
	飲料適否	概要(問題点及び改善策)								

(別記第16号様式)

防除作業計画書

年 月 日

〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇 様

札幌市中央区北〇条西〇丁目

〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

建築物の名称		所在地			
現 地 調 査	場所	用途	対象種	検査方法	生息度 (Ⅲ Ⅱ Ⅰ)

上記建築物におけるねずみ昆虫等防除作業を次のとおり実施する。

防除作業年月日・時刻	年 月 日	時 分 から	時 分 まで
防除作業監督者			
防除作業従事者			
防除作業方法			

使用薬剤名とその量	
使用機具・機材	
効果判定点検月日	月 日
事後処理	<p>防除作業実施後は、次のことを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 効果判定の結果が不十分な場合 → 再処理 2 防そ、防虫工事 3 死そ、死虫及び薬剤の回収 4 清掃等
防除作業結果	後日、防除作業報告書を提出する。

(別記第17号様式-1)

防 除 作 業 報 告 書

年 月 日

依頼者 所在地

ビル名

所在地

名 称

代表者

(別記第17号様式-2)

ビル名					
所在地					
現地調査日		年 月 日 (曜日)		時 分 ~ 時 分	
現 地 調 査	場所	用途	対象種	検査方法	生息度 (卍 卍 卍)
現地調査者	監督者名				
	作業従事者名				
防除作業日		年 月 日 (曜日)		時 分 ~ 時 分	
防除作業者	監督者名				
	作業従事者名				

防 除 作 業 方 法	(処理方法を具体的に記載すること。)	
	使用薬剤名 及びその量	
	効果判定の点検日	
	効果判定結果	
	効果判定者名	
施 設 の 改 善 事 項 及 び 問 題 点		

(別記第 18 号様式)

水 質 検 査 結 果

検査項目 検査年月日	残留塩素 ppm	色	濁り	臭い	味

(別記第19号様式-1)

空気調和用ダクト清掃作業計画書

年 月 日

〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 様

札幌市中央区北〇条西〇丁目
〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

【〇〇〇ビル（札幌市中央区北〇条西〇丁目）】のダクト清掃については、次のとおり実施する。

- | | |
|---|---|
| 1 | 作業実施年月日・時刻
年 月 日 時 分 から 年 月 日 時 分 まで |
| 2 | ダクト清掃人員
〇〇〇〇をダクト清掃作業監督者(責任者)とし、おおむね〇〇名で作業を行う。 |
| 3 | ダクト清掃作業手順及び工程等
別記第19号様式-2のとおり。 |
| 5 | 使用機材
(名称及び台数を記載すること。) |
| 6 | ダクト清掃方法
ダクトの配管系統や寸法、形状及び材質を図面等により確認するほか、清掃を行おうとする日の建築物の使用状況やダクトの運転状況を考慮して行う。 |
| 7 | その他
作業員については、日ごろから研修を実施する等資質と技術向上に努める。
また、作業員の服装等については、常に清潔なものとする。 |

<作業手順>

現場に集合 (時 分)

↓

契約条項の確認

↓

作業チームの確認

↓

作業機材・機器の確認

↓

清掃場所の確認

↓

空調設備等の運転状況確認 (故障及び異常状態等を含む。)

↓

作業開始

↓

作業終了

↓

空調機器運転開始

↓

現場周辺の整理・整頓

↓

作業完了 (立会人により作業完了の確認を受ける。)

↓

作業報告書提出

<作業工程>

- 1 室内の養生（清掃に使用する資機材の搬入時及び清掃時における天井、壁及び床並びに室内における備品等の汚損を防止するため、必要な場所にフィルムシートによる養生等を行う。）
- 2 機器搬入・設置（集塵機を搬入・設置する）
- 3 ダクト内部の粉じんの堆積状況等を内視鏡により点検
- 4 ダクトに吸引口を取り付け集塵機と接続し、ダクト内を吸引する。
- 5 吹出口等の取外し・ダクト中間部を開口し清掃する。
- 6 ダクト内の清掃・滅菌・消毒等を行う。
- 7 修理箇所の有無の点検（必要に応じて修理を行う。）
- 8 吹出口・ダクト開口部等の復旧
- 9 送風機を試運転し、粉じん等が室内に流入しないことを確認し、流入が認められる場合は、再度清掃を行うなど必要な措置を講ずる。
- 10 集塵機を片付け、使用機材を搬出
- 11 養生を片付け、施行室内や通路等を清掃・点検

(別記第20号様式-1)

空気調和用ダクト清掃作業報告書

年 月 日

依頼者 所在地

ビル名

所在地

名 称

代表者

(別記第20号様式-2)

ビル名			
所在地			
作業箇所 (系統)			
作業実施日		年 月 日 時 分 から 年 月 日 時 分 まで	
作業者		監督者名	
		作業従事者名	
使用資機材			
清掃 状況	ダクト	系統	
	吹出口	箇所	
	開口部	箇所	
所 見	掃 除 前		掃 除 後
	写 真 等		写 真 等

(別記第21号様式-1)

排水管清掃作業計画書

年 月 日

〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 様

札幌市中央区北〇条西〇丁目
〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

【〇〇〇ビル（札幌市中央区北〇条西〇丁目）】の排水管清掃については、次のとおり実施する。

- | | |
|---|--|
| 1 | 作業実施年月日・時刻
年 月 日 時 分 から 年 月 日 時 分 まで |
| 2 | 排水管清掃人員
〇〇〇〇を排水管清掃作業監督者(責任者)とし、おおむね〇〇名で作業を行う。 |
| 3 | 排水管清掃作業手順及び工程等
別記第21号様式-2のとおり。 |
| 5 | 使用機材
(名称及び台数を記載すること。) |
| 6 | 排水管清掃方法
排水管の配管系統や寸法、形状及び材質を図面等により確認するほか、清掃を行おうとする日の建築物の使用状況を考慮して行う。 |
| 7 | その他
作業員については、日ごろから研修を実施する等資質と技術向上に努める。
また、作業員の服装等については、常に清潔なものとする。 |

<作業手順>

現場に集合 (時 分)

↓

契約条項の確認

↓

作業チームの確認

↓

作業機材・機器の確認

↓

掃除場所の確認

↓

排水管の使用状況確認 (故障及び異常状態等を含む。)

↓

排水槽周辺の清掃

↓

安全処置の確認 (安全帽・長ぐつ・火気・電気・換気・工具・機器・油類・仮設物等)

↓

作業開始

↓

作業終了

↓

排水開始

↓

現場周辺の整理・整頓

↓

作業完了 (立会人により作業完了の確認を受ける。)

↓

作業報告書提出

<作業工程>

- 1 室内の養生（清掃に使用する資機材の搬入時及び清掃時における天井、壁及び床並びに室内における備品等の汚損を防止するため、必要な場所にフィルムシートによる養生等を行う。）
- 2 機器搬入・設置（集塵機を搬入・設置する）
- 3 排水管内部の汚泥の堆積状況等を内視鏡により点検
- 4 清掃方法により器具の取り外し、掃除口周辺の除去物質の飛散防止措置を行う。
- 5 悪臭発散の防止に配慮する。
- 6 排水管内の清掃・消毒等を行う。
- 7 修理箇所の有無の点検（必要に応じ修理を行う。）
- 8 掃除口、取り外した器具等の復旧
- 9 排水管の継ぎ目等から漏水がないこと、トラップの封水が適切に保たれていること等を確認し、掃除口周辺の清掃を行う。
- 10 使用機材を搬出
- 11 養生を片付け、施行室内や通路等を清掃・点検

(別記第22号様式-1)

排水管清掃作業報告書

年 月 日

依頼者 所在地

ビル名

所在地

名称

代表者

(別記第22号様式-2)

ビル名 所在地			
作業実施日	年 月 日 時 分 から 年 月 日 時 分 まで		
作 業 者	監督者名		
	作業従事者名		
作業箇所	使用機材	作業内容	
所 見	掃 除 前		掃 除 後
	写 真 等		写 真 等